

一吉綴り「加飾紙の日々・第二号」

2017年05月吉日 記：一色清

加飾紙とは、伝統的材料・図柄・技法・美意識を尊重し、暮らしを潤し豊かにすることを目指し開発した当社の室内装飾紙です。

新緑の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
微力ではありますが、日々重ねている加飾紙についてお伝えいたします。

*【香り紋】in 日本橋みやげについて

4/19～5/9日 三越日本橋本館5階 ギャラリーライフマイニングにて販売
東京の旅の記憶を引き出す、香りを楽しむフレグランス。吉祥紋も楽しめます。



「夕鶴」 「浜千鳥」 「雪兎」

*東京手仕事展について

5/24～6/6日 日本橋三越本店本館5階 スペース#5

東京手仕事は、伝統の技に光を当て、匠の繊細な手仕事の魅力を国内はもとより世界に発信していく取り組みです。



初舞台：一吉和紙小物も展示販売予定

5/26～28日 ワークショップ開催 初挑戦！

箔で作るオリジナル香り紋の製作 湯島アート(加飾紙)

参加費 ¥3,000/人 定員 1日10名 11時・13時・15時の3回

場所 日本橋三越本店 本館5階 スペース#5

ご予約・お問合せ 03-3274-8935

賑わいの中、集中できるのでしょうか？・・・自分だけの作品めざしてガンバ

*箔細工について

金屏風の金箔平押しや障屏面の雲砂子、平家納経の散し細工などご覧になったことと思います。平安時代より、日本では多くの品を箔で加飾してまいりました。

当社、先代の作品より、



松・梅色紙



焼き箔散し



本銀霞・金泥稲穂



雲取り砂子

箔とは、金属を薄く伸ばした地金箔の本金箔や銀箔、錫箔、真鍮箔、アルミ箔などと、最近では、銀箔やアルミ箔などに着色した着色箔の和光箔、親和箔などがあります。地金箔と比べると着色箔は着色分厚く硬くなり、細工はし易く、焼けなどの耐性も強くなりますし、色が豊富になりました。

少し、輝きが強いかと思いますが、目立ちます。



金箔



銀箔



着色箔など

箔細工とは、定形の箔（約10 cm角）を箔盤と竹刀で種々の形を作ります。



箔盤と竹刀



砂子



小石（約2.5 mm角）



大石（約5 mm角）



野毛

砂子師と蒔絵師について

本当のところは分かりませんが私の理解では、
木地に漆を接着剤として、細工箔などで加飾される方を蒔絵師
和紙に膠を接着剤として、細工箔などで加飾するのが砂子師で、
箔や道具の基本は一緒かと思います。

糊について

膠は、(当社は)天然の動物性たんぱく質の三千本にかわを使用しています。
調整には、水に浸し1晩置いて、適温で溶かし、布で漉します。
使用時には、目的により濃度調整を行い、湯煎しながら、刷毛引きします。
保存剤を基本的には使わないため、冷蔵保管でも数日で廃棄します。
*ほ〜ら、昔気質で、呆れてしまうでしょう。



膠「三千本」

余談ですが、石に箔細工する際は、油性のクリヤーラッカー系がよろしいようです。



今回のワークショップでは、管理の難しさからエマルジョン系の合成糊を使用します。

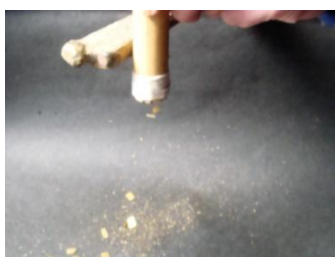


加飾方法について

きちんと着いて、なるべく長く痛まないことが肝心です。

自然に散った感じや風に舞ったグラデーションなどが喜ばれ、故意に置いた感が見えるとそれなりの評価のようです。

参考として



石落とし



野毛置き



砂子蒔き

日々いろいろと苦慮していることがお分かりでしょうか。

筒や篩に踊り子を入れて、目を整えて砂子を巻いて、竹箸や筆先で「野毛」や「大石」「小石」などを置いて、定着性・耐久性・膠水のため再コートします。

箔を使ったオリジナル香紋「香桜紋」の試作です。

手描きした「描き絵」の桜紋に、本金砂子蒔きを施しました。



・・・では、次回。

WEB ショップ「一吉」店主 (有) 湯島アート 一色清

住所 (柏工場) 〒277-0863 千葉県柏市豊四季 945-448

FAX 04-7144-2669

Email issiki.kiyosi@maroon.plala.or.jp

<http://www.yushima-art.co.jp>